

平成29年 第1回京丹後市教育委員会会議録

- 1 開催年月日 平成29年1月4日(水)  
開会 午後1時00分 閉会 午後1時45分
- 2 場 所 大宮庁舎 4階 第5会議室
- 3 出席委員名 吉岡喜代和 野木三司 森 益美 久下多賀子 田村浩章
- 4 説 明 者 教育次長 横島勝則 教育理事 梅田利也 総括指導主事 松本明彦  
教育総務課長 岡野 勲 学校教育課長 松本晃治  
子ども未来課長 吉岡正俊 社会教育課長 吉田茂夫  
文化財保護課長 吉田 誠
- 5 書 記 教育総務課庶務係長 田村真知子
- 6 議 事
  - (1) 議案第1号 京都府立大学地域貢献型特別研究(ACTR)成果報告会の開催に係る後援について
  - (2) 議案第2号 宇宙飛行士 山崎直子 講演会の開催に係る後援について
- 7 そ の 他
  - (1) 諸報告
    - ① 「共催」・「後援」に係る12月期承認について
  - (2) 各課報告
    - <学校教育課>
      - ① 1月学校行事予定について
    - <子ども未来課>
      - ① 第2次保育所再編等推進計画の答申について
    - <社会教育課>
      - ① 第27回丹後町青少年少女意見発表大会について
- 8 会 議 録 別添のとおり(全9頁)

9 会議録署名

別添の会議録は書記が記載したものであり、別添記載の正確であることを認めここに署名する。

平成29年2月1日

教 育 長 吉 岡 喜代和

署 名 委 員 田 村 浩 章

- 〔招 集 者〕 京丹後市教育委員会教育長 吉岡喜代和
- 〔被招集者〕 野木三司 森 益美 久下多賀子 田村浩章
- 〔説 明 者〕 教育次長 横島勝則 教育理事 梅田利也 総括指導主事 松本明彦
- 教育総務課長 岡野 勲 学校教育課長 松本晃治
- 子ども未来課長 吉岡正俊 社会教育課長 吉田茂夫
- 文化財保護課長 吉田 誠
- 〔書 記〕 教育総務課庶務係長 田村真知子

〈吉岡教育長〉

ただ今から「平成29年 第1回京丹後市教育委員会定例会」を開会致します。

あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、心からお喜び申し上げます。

本年もよろしく願いいたします。

昨年は、4月に市長選挙があり市長が交代しましたし、7月には新しい教育委員会制度に入るとともに、教育委員の交代もあり、新しい体制の中で教育行政を進めています。

教育委員の皆様には、会議での活発な議論、視察や研修会への参加など、忙しい中であってご尽力をいただいていますこと、改めてお礼申し上げます。

教育委員会では、平成27年3月に策定した教育振興計画を基本に様々な事業に取り組んでいます。学校関係では、小中一貫教育、学校再配置、教室の空調化やICT化などの環境整備、保育所関係では保育所再編の検討、社会教育関係では図書館や体育施設の整備の検討、文化財関係では遺跡整備や文化財の保全など、多くの継続事業に取り組んでいますし、新たに中学生の海外派遣事業、貸付奨学金の創設などの取組みを行っています。

これらの事業を実施していくには、教育委員の皆様にご指導をいただきながら、事務局と学校・保育所・公民館などの現場が一体となって業務を執行していく必要があると思っていますし、職員には、京丹後市の将来を見据え、日頃から課題意識をもって業務に当たる必要があることを、この会議の後に予定しています「新年の式」で指示したいと思っています。

また、12月の臨時会で承認いただき、議会の最終日に提出しました「平成27年度

教育委員会活動の点検及び評価報告書」について、水野議員から2人の学識経験者の意見を踏まえ教育長の所見が求められました。

私としては、先生方の意見にありました、現在、国でも言われている開かれた学校づくりについては、小中一貫教育で取り組みを進めている地域連携の中で強化を図っていききたいことと、教育委員の管内視察については機会を増やしていきたいこと、そしてその他にも意見を踏まえた一定の取り組みをしていきたいことを答弁させていただきました。加えて、教育委員の皆さんの様々な活動についての記録も可能な限り記載することが必要であると感じました。教育委員会に勤務してから7年になりますが、この評価報告書に対する質問があったのは初めてであり、一人の議員が発言されることにより、今後においても内容に対する質問が出てくる可能性が高いと思っており、記載内容もより点検が必要と思います。

年末に報告をさせていただきましたが、子ども未来課が行っている保育料等の納付書送付について、発送が遅れるという事案がありました。利用者の皆さんに多大なご迷惑をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。日頃から、業務のチェックについては厳しく指示をしている中で発生したことであり、改めて管理職から職員に対し、再発防止の指導をするよう指示をしたところでした。

ますます厳しくなる社会環境にあっても、「まちづくりは人づくりから」の思いをもって教育行政に当たっていきたくと考えていますので、教育委員の皆さんからもご意見や提言をいただきたいと思っております。

本日は、「京都府立大学地域貢献型特別研究（ACTR）成果報告会の開催に係る後援について」をはじめ2議案の審議を予定しています。

どうぞよろしくお願いいたします。

<吉岡教育長>

それでは、平成28年 第21回教育委員会定例会開催後の諸会議、行事等を中心に、教育長活動報告をさせていただきます。

#### 【教育長活動報告】

<吉岡教育長>

以上です。ご質問等ありましたらお願いします。

<野木委員>

今の報告の中で、12月市議会で共産党議員と、あと2人の議員の方が反対をされたという「財産の無償譲渡」について、どの辺りが反対なのか、意見のやり取りはあったのでしょうか。

<吉岡教育長>

保育所の完全民営化の件なのですが、社会福祉法人が運営するにしても、無償という事はどうなのか、有償で譲渡すべきではないのか、という意見がありました。

実は、この「財産の無償譲渡」の議案は、12月議会の当初、招集日に文教厚生常任委員会に付託になりましたので、議会最終日の採決の時には委員長報告という形で、文教厚生常任委員長が報告をします。ですから、私たちがそのような意見に対して答弁ができないです。議員同士の話し合いの中で進められたので、一方的に意見を言われて、それに対する委員会の質疑はありませんでしたという答弁が行われ、すぐに採決という形になっています。

<吉岡教育長>

他に、ございませんか。

<吉岡教育長>

それでは、本日の会議録署名委員の指名を致します。

田村委員を指名しますのでお願いします。

それでは、お手元の会議次第にそって議事を進めさせていただきます。

議案第1号「京都府立大学地域貢献型特別研究（<sup>アクター</sup>ACTR）成果報告会の開催に係る後援について」を議題とします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

<横島教育次長>

議案第1号「京都府立大学地域貢献型特別研究（ACTR）成果報告会の開催に係る後援について」説明をさせていただきます。

京都府立大学では、京都府内の地域振興や産業・文化の発展等に貢献することを目的として、大学教員が自治体等と連携して地域課題解決に向けた調査研究活動として京都府立大学地域貢献型特別研究（ACTR）を実施しています。平成28年度は21件の

調査研究に取り組み、そのうち丹後地域にかかわる3件の調査研究の成果報告を行うものです。平成29年2月18日と19日の2日間行われ、2月18日は午後1時から午後5時30分の予定で、文学部藤本准教授が「丹後の海の歴史・文化に関する総合的研究」同じく文学部向井准教授が京丹後市域の考古資料を中心とした文化遺産の整理と活用」の成果報告を行い、翌2月19日は午後1時から午後4時まで、生命環境科学研究科の松田講師が『宮津市新浜地区における芸能文化と歴史的建築、街区の形成に関する研究及びその成果公開』を報告します。

主催は京都府立大学、会場はみやづ歴史の館・文化ホール、申請者は京都府立大学の学長 築山 崇氏となっています。

以上、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

<吉岡教育長>

ただ今、議案第1号を説明させていただきました。

ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

<吉岡教育長>

それではお諮りを致します。

議案第1号「京都府立大学地域貢献型特別研究（<sup>ア</sup> <sup>ク</sup> <sup>タ</sup> <sup>ー</sup> A C T R）成果報告会の開催に係る後援について」につきまして、承認にご異議ございませんか。

<全員>

異議なし。

<吉岡教育長>

異議なしと認め、承認致します。

<吉岡教育長>

次に、「議案第2号 宇宙飛行士 山崎直子 講演会の開催に係る後援について」を議題と致します。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

<横島教育次長>

議案第2号「宇宙飛行士 山崎直子 講演会の開催に係る後援について」説明をさせていただきます。

この事業は、子どもたちをはじめ、皆さんに将来の夢や目標への熱意・努力の大切さを、宇宙飛行士を目指し国際宇宙ステーションで活躍された山崎直子氏の講演を通じて、「夢は実現できる」ことを学ぶ目的で実施するものです。

山崎直子さんが夢を抱いて、宇宙飛行士を目指すようになったきっかけや、宇宙や宇宙飛行士に関するわかりやすいお話をさせていただく予定です。

主催は宇宙飛行士山崎直子講演会実行委員会、日時は、平成29年3月24日午後2時15分～3時45分、会場は京都府丹後文化会館、申請者は実行委員会の委員長の吉岡淳一氏となっています。

以上ご審議のほどよろしくお願いたします。

<吉岡教育長>

議案第2号を説明させていただきました。

ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

<野木委員>

会場は京都府丹後文化会館とおっしゃっていますが、予算書の支出の部で、会場使用料がアグリセンター大宮と京都府 丹後文化会館の2会場となっています。アグリセンター大宮は、何かお使いになる予定があるのでしょうか。

<吉田社会教育課長>

この実行委員会の会議を何回か計画してしまして、その際にアグリセンター大宮を使います。

<野木委員>

「将来の夢や目標」という、子どもたちに聞かせてあげたい事業目的がすごく鮮明に浮かぶのですが、開催日が3月24日、金曜日ですが、市内の小中学生を特別に学校として集めるとか、そういう計画等はないのですか。

<横島教育次長>

講演をさせていただく山崎さんと日程を調整する中で、より子どもたちに聞いてもらいやすい夏休み等を開催できないか検討はしていただいたようですが、どうしても山崎さんと調整がとれないということで、この3月24日という日程が設定されております。

この実行委員会の元になっているのが、網野の中学生が小学校時代に宇宙衛星と交信をした事も大きなきっかけになっているので、網野中学校の方にはできるだけ協力をしてほしいという事も聞かせていただいております。ですので、学校と連携している部分もある事業になっています。ただ、あくまでも一般向けの講演会ですので、子どもを中心に、どなたでも来てもらえる講演会の形式にはなっています。

〈松本学校教育課長〉

今、次長が申しあげましたように、網野北小学校時代の繋がりがありましたので、今の予定では網野中学校の1・2年生が全員バスで会場に向かう予定にしております。

〈松本総括指導主事〉

3月24日は修了式の日ですので、小中学校はおおよそ午前中授業です。午後からの家庭等の協力における参加は充分可能ではないかと思っております。

〈久下委員〉

網野中学校は、基本的に1・2年生が参加させていただけるという事ですが、他の地区でも修了式の日で、午後、子どもたちの時間が空きますから、きっと行きたいと思っているお子さんもいるでしょうし、特に希望する児童生徒に対しての手立てがなんとかできないものでしょうか。

〈横島教育次長〉

ベースは社会教育事業ですが、コアとなる部分は学校と連携をして準備をさせていただいているという事を、学校教育課から説明をさせていただきました。ですが、全ての小中学生に手立てという形は、なかなか難しいという事もありますので、社会教育事業の中で協力をさせていただく事にしていきます。家庭の協力等という制約が付く児童・生徒が出てくる事に関しては、ご理解いただきたいと思えます。

〈田村委員〉

私も是非、子どもたちに、直接、話を聞く機会を多く与えていただきたいと思います。

今回は社会教育という事で、折り込みチラシも作っておられるようですが、席は自由席ですよね。自由席という事は、来た者順になる訳ですが、もしも会場に入れなくなるような状態になった時、公民館等で話だけ聴けるとか、そのような準備はされているの

でしょうか。

<横島教育次長>

今のところは、たぶん文化会館のホールで対応ができるということで、取り立ててそういう公民館の席までという事は考えていませんが、実際、広報活動等をしていく中で、状況に合わせて、対応できる手段があれば、その時に実行委員会の方と相談をして、できるだけ観ていただく機会が確保できるように考えていきたいと思います。

<野木委員>

私も山崎さんの事を知っています。彼女のビジネスの分野での素晴らしい部分、それから教育に関しても、いろんなものを持ち合わせている人物です。

この講演の内容は、おそらく「子どもたちへ」というよりも、ビジネスも含めて、多岐にわたっての話になるかと思います。そこへ子どもたちが行って、どれだけの気付きができるんだろうな、話を聞いてどうなんだろうなと、そんな心配さえ私はしております。

本当はテーマを絞って、彼女の子育ての話も含めて、子どもたち、そしてPTAの親御さん達に、その部分だけを聞かせたいと、かねがね思っていたんです。ですが、今回の講演の内容は、「子どもたちへ」という話とは違う感じがしておりまして、敢えて子どもたちをそこへという事は、いかがなものかと私は考えております。

今回の講演の日程も、彼女は土日は自分の子供達と一緒に過ごす時間だと、はっきり決めていますので、金曜日になったのではないかと思います。

夏休みや冬休みであれば、比較的自由に時間が取れると本人から聞いておりましたので、できるならばまた次回、京丹後市の子どもたち皆が、直接、話を聞ける機会を作っただけであればありがたいと思います。

<森委員>

今の話を聞かせていただいていると、大人向けの話になるのかなという気はしたのですが、「夢は実現できる」という子どもたちに聞かせたい講演なのであれば、親御さんが仕事で融通がつかない場合、希望者を集めて回るバスか何か、少しそういう配慮があれば、親としては嬉しいのではないかと思いますので、どうでしょうか。

<横島教育次長>

委員さんのご指摘はごもっともだと思いますが、日程的にも期間的にも限られた中で、しかも、これは実行委員会形式でやっている事なので、教育委員会が主催でやるものと

はやっぱり違います。実行委員会の都合や一定の方針もあると思います。

できる範囲内で、そういった配慮もしていただけないかというご相談はさせていただきますけれども、配慮していただけるかどうかは実行委員会の方に委ねざるを得ないと思っております。

<田村委員>

先程の説明の確認をしたいのですが、網野中学校の1・2年生は修了式終了後、全員バスに乗って移動して、講演会の席は確保してあるという事ですね。

<松本学校教育課長>

今おっしゃいましたように、1・2年生は全員バスで移動します。実行委員会の方にもその旨は伝えてありますので、一応、席は確保されているものと考えております。

<田村委員>

それはやっぱり山崎さんが宇宙にいらっしゃった時に交信をしたので、網野中学校の1・2年生という事を、実行委員会として決めたということですか。

<松本学校教育課長>

実行委員会からの呼びかけももちろんありまして、学校長とも相談をした上で、先ほど次長からお話もありましたように、網野の中学生が小学校の時に交信をしたという経過を元に、網野中学校の1・2年生が参加をするという内容になっています。

<吉岡教育長>

他に、ございませんか。

<吉岡教育長>

それではお諮りを致します。

議案第2号「宇宙飛行士 山崎直子 講演会の開催に係る後援について」につきまして、承認にご異議ございませんか。

<全委員>

異議なし。

〈吉岡教育長〉

異議なしと認め、承認致します。

〈吉岡教育長〉

以上で本日の議事はすべて終了いたしました。

続いて4のその他ということで、諸報告、各課報告を順次いたします。

(1) 諸報告

〈横島教育次長〉

① 「共催」・「後援」申請に係る12月期承認について

(2) 各課報告

〈学校教育課〉

① 1月学校行事予定について

〈子ども未来課〉

① 第2次保育所再編等推進計画の答申について

〈社会教育課〉

① 第27回丹後町青少年少女意見発表大会について

〈吉岡教育長〉

全体をとおして、何かご質問がありますか。

〈吉岡教育長〉

それでは、以上で第1回京丹後市教育委員会定例会を閉会致します。

〈閉会 午後1時45分〉

[ 2月定例会 平成29年 2月 1日(水) ]